

# 2016 展覧会 & イベントスケジュール

3 月 1 日 (火) ~ 4 月 18 日 (月)

## 「浅間山と御嶽山の噴火と文学」

東日本大震災 (2011・3.11) から 5 年を迎えるのを機に、浅間山の噴火活動に関連する、文学にあらわれた噴火や噴煙を描写した作品を、肉筆資料、著作、初出紙誌などで紹介します。今回は、一昨年の御嶽山の噴火についても一部紹介します。全国文学館協議会・第 4 回共同展示 (今回のテーマ「3.11 文学館からのメッセージ」) に 4 年連続で参加したものの。

4/19,20,21 休館

4 月 22 日 (金) ~ 7 月 18 日 (月)

## 「幅北光が撮った軽井沢の風光」

2015 年 2 月、軽井沢で暮らした新聞記者・写真家の幅北光 (1905-1983) 氏のご遺族から、幅氏が 1930 ~ 70 年代にかけ、当地で撮影した人物・風景・建築等の写真約千点余を寄贈いただきました。昨年春の展示「幅北光が撮った軽井沢の文学者・芸術家」に引き続き、第二回として、幅氏が撮った軽井沢の風景、街並み、人物、別荘、花、鳥などの様々な写真約 100 点を、初版本・原稿・書簡・絵画・初出紙誌などの文学関連資料約 150 点と共に展示いたします。

7/19,20,21,22 休館

7 月 23 日 (土) ~ 10 月 10 日 (月)

## 夏季特別展「130 年の軽井沢~室生犀星・堀辰雄・川端康成・遠藤周作...~」

軽井沢は 1886 年 (明治 19) にカナダ人宣教師により避暑地として見出され、今年でちょうど 130 年を迎えます。それを記念して、明治末期から 1980 年代頃までにおける、軽井沢の自然や風物を描いた詩や小説、エッセイ、俳句・短歌等の中から、室生犀星、堀辰雄、川端康成、遠藤周作をはじめとする多くの文学者たちによって描かれたすぐれた文学作品を、一堂にご紹介します。原稿、書簡、絵画、初出紙誌、写真など文学関連資料約 250 点を展示いたします。

10/11,12,13 休館

10 月 14 日 (金) ~ 11 月 30 日 (水)

## 「軽井沢ゆかりの文学を訪ねて」

明治末期から今日に至るまでの軽井沢ゆかりの作家約 50 人の、軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌など約 150 点を、著作、原稿、書簡、初出紙誌、写真等の館収蔵資料で紹介いたします。軽井沢の豊穡な文学の歩みを一望できます。

12/1- 休館

### <イベント>

- 高原文庫の会 8 月 6 日 (土) 14 時~ 講師: 加賀乙彦 (作家、当館館長) 「私の軽井沢」  
聞き手: 矢代朝子 (俳優、当館理事) 会場: 高原文庫中庭
- 高原の文学サロン 8 月 20 日 (土) 14 時~ 講師: 下重暁子 (作家、日本ペンクラブ副会長)  
「私と軽井沢 そしてタゴール」 クラヴィコード演奏: 佐伯恵美 会場: 高原文庫中庭
- 朗読会 7 月 23 日 (土)、24 日 (日) 各 13 時~、17 時~ (計 4 回) 会場: 旧朝吹山荘「睡鳩荘」  
(予約受付開始) 出演: 山本芳樹 (Studio Life)、坂本岳大、矢代朝子、ゲスト・三遊亭圓馬 (23 日のみ)  
(5/10 日 9 時~) 北杜夫「どくとるマンボウ昆虫記」、ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」、  
遠藤周作「ルーアンの丘」、ジャン・ジロドゥ「トロイ戦争は起こらない」、加賀乙彦「雲の都」他
- 文学散歩 ①新緑の追分を歩く 5/14 (土) 13 時~、②晩秋の旧軽井沢を歩く 10/22 (土) 13 時~
- 辻邦生山荘見学会 ①6/4 (土) 13 時~ (※予約受付 5/1日 9 時~)、②9/3 (土) 13 時~、③10/1 (土) 13 時~ (計 3 回)